

2009年度日本演劇学会・秋の研究集会プログラム

公共劇場のゆくえ

2009年10月31日（土）～11月1日（日）
静岡芸術劇場・舞台芸術公園（SPAC-静岡県舞台芸術センター）

《ご案内》

新秋の候、日本演劇学会会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度は皆様のお力添えにより、2009年度の「秋の研究集会」を当劇場で開催する運びとなりました。つきましては、会の詳細が決まりましたので、改めてご案内申し上げます。会員の皆様のご参加をお待ちしておりますので、ふるってご参加ください。

記

恐れ入りますが会員の皆様には、同封のハガキにて、**10月10日（土）〈当日消印有効〉**までに出席をお知らせくださいようお願い申し上げます。

日時 2009年10月31日（土）、11月1日（日）
 『夜叉ヶ池』観劇：10月31日（土）14:00（13:00受付開始）～16:00
 研究集会：10月31日（土）16:30（13:00受付開始）～18:30
 11月1日（日）10:00（9:30受付開始）～16:00
 懇親会：10月31日（土）18:45～20:30

会場 SPAC-静岡県舞台芸術センター
 10月31日（土）：静岡芸術劇場（グランシップ内）
 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 Tel. 054-203-5730
 11月1日（日）：舞台芸術公園 屋内ホール「楯円堂」
 〒422-8003 静岡市駿河区平沢100-1 Tel. 054-208-4008

会費

研究集会	1,500円	『夜叉ヶ池』観劇料（※）	3,200円
懇親会費	5,000円	二日目のお弁当代（※）	1,000円

（※）ご観劇・お弁当をご希望の方は予め返信用ハガキにてその旨をお伝えください。

お問い合わせ・連絡先

日本演劇学会 秋の研究集会実行委員会
 〒420-8005 静岡市駿河区池田79-4
 SPAC-静岡県舞台芸術センター 文芸部 横山義志
 E-mail yokoyama@spac.or.jp / 電話：080-1308-0400 / fax：054-203-5732

テーマ：公共劇場のゆくえ

劇場とは、身体を通じてあるヴィジョンを共有するための装置です。そこでは常に一つの共同体が生成し、あるいは再確認されます。この意味で、演劇はつねに共同体的なものであり、公共のものであるといえます。実際ヨーロッパにおいては古代ギリシア以来、演劇はしばしば公共事業として発展し、これが現在の公共劇場政策につながっています。ここでいう「劇場」とは、単なる容器ではなく、高度な技術を持つ専門家集団と、その技術を最大限に実現するための機構を備えた場とが一体となった組織のことです。

これに倣って、日本でもここ十数年来、「公共劇場」のシステムを導入する試みがなされてきました。しかし一方で、自治体の財政が疲弊していくなかで、公共劇場政策がふたたび箱物行政へと後退していくケースも多々見られます。演劇という非効率な表現手段が、水道や医療と同じように共同体にとって必要なものであるためには、公共劇場はどうあるべきなのでしょう？

この問いに答えるために、今回はその事例の一つであるSPACを会場として、公共劇場の意義や歴史、課題や未来について、複数のセッションと研究発表により考察していきたいと考えています。

基調講演

〈日本演劇におけるSPACの意味〉 鈴木滉二郎（静岡文化芸術大学大学院教授）

SPAC-静岡県舞台芸術センターは、専有の劇場を拠点として専属の俳優・スタッフが活動を行う日本では初めてのヨーロッパ型公共劇場として、1997年から本格的な活動をはじめました。東京文化会館副館長や全国公立文化施設協会（公文協）常務理事として日本の公共劇場政策の現場に深く関わっていらした鈴木滉二郎先生に、日本の演劇文化・演劇史のなかでSPACが果たした役割、果たすべき役割について語っていただきます。

研究発表

分科会A 〈演劇と公共性—現在〉 司会：青野智子（諏訪東京理科大学）	
1	公立劇場としての座・高円寺の試み—「あしたの劇場」に着目して—／小林由利子（東京都市大学）
2	創造集団が運営する地域劇場の公共性に関する考察—特定非営利活動法人「鳥の劇場」の活動を事例として—／五島朋子（鳥取大学地域学部附属芸術文化センター）
3	韓国・国立劇場の運営実態について／李惠貞（韓国中央大学校 メディア公演映像大学 演劇学科）

1990年代の公立ホール建設ラッシュから十数年が経ち、日本の公共劇場シーンにも、「箱物」を脱却して「創造の場」としての劇場をめざす動きも見えてきました。分科会Aではこの現在形の動きについて、具体的な事例をもとに発表していただき、また隣国韓国における試みもご紹介いただきます。

分科会B 〈演劇と公共性—歴史〉 司会：岸田真（桜美林大学）	
1	能の表現と観客—世阿弥の著述を基に—／浜敬子（神戸大学博士課程研究生）
2	帝劇と〈エンパイア〉／星野高（早稲田大学演劇博物館グローバルCOE研究生）
3	公共という問題と黒テントの位置／高橋宏幸（桐朋学園芸術短期大学非常勤講師）

ヨーロッパ諸国と比べると、日本の演劇史においては国家と演劇との結びつきが比較的小さかったように見えます。とはいえ、一定数の観客を必要とする演劇には、必ずある種の公共性が伴います。分科会Bでは、近代以前と近代以後、そして現代の日本演劇がどのように公共性という問題と向き合ってきたのか、具体的な事例をもとに発表していただきます。

シンポジウム

〈公共劇場のゆくえ 創造の拠点をいかにつくり継続できるか〉

岩松了（兵庫県立ピッコロ劇団代表、劇作家・演出家） 永井聡子（静岡文化芸術大学講師）
宮城聡（SPAC芸術総監督、演出家） 司会：清水裕之（名古屋大学大学院教授）

日本の演劇が東京一極集中から脱するためには、地域の公共劇場が真の創造の拠点として機能するようにならなければなりません。十数年ほどの経験を経て、いま、私たちは、公共劇場がその役割を果たしてきたのか、そしてこれからその役割を担いつづけていくためにはどのようなシステムを構築すべきかを考えていく必要があります。ピッコロ劇団、知立文化会館、そしてSPACと、さまざまなタイプの公共劇場の現場で活躍する方々にお集まりいただき、公共劇場がいま直面している課題についてお話しいただきます。

プログラム

10/31 (土) 会場：静岡芸術劇場

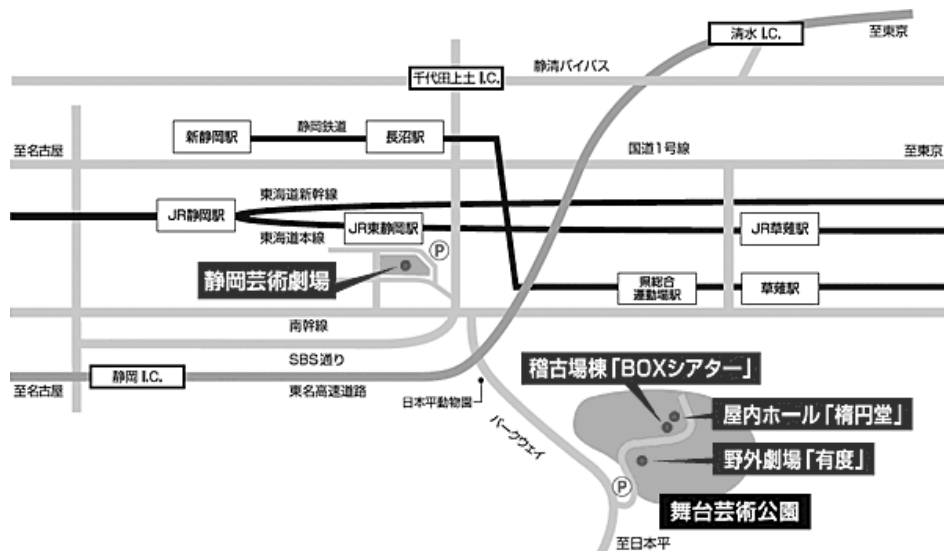
13:00	演劇学会秋の研究集会・『夜叉ヶ池』観劇受付開始	劇場入口・学会員専用受付
14:00-15:30	『夜叉ヶ池』(宮城聡演出) 観劇	静岡芸術劇場
15:30-16:30	カフェ・シンデレラ営業 (『夜叉ヶ池』出演俳優も登場します)	カフェ・シンデレラ (劇場ホワイエ)
16:30	開会挨拶	静岡芸術劇場
16:40-18:00	基調講演〈日本演劇におけるSPACの意味〉 鈴木滉二郎	
18:00-18:30	静岡芸術劇場バックステージツアー	
18:45-20:30	懇親会	カフェ・シンデレラ

11/1 (日) 会場：舞台芸術公園

09:15	送迎バス 東静岡駅発車		東静岡駅	
09:30	送迎バス 舞台芸術公園到着／研究集会受付開始		バスロータリー／楢円堂	
10:00-12:00	研究発表 分科会A 〈演劇と公共性—現在〉	研究発表 分科会B 〈演劇と公共性—歴史〉	分科会A： 楢円堂	分科会B： 稽古場1 （稽古場棟）
12:00-13:30	お昼休憩（昼食）	理事会	昼食：カチカチ山（食堂）	理事会： 本部棟会議室
13:30-15:30	シンポジウム 〈公共劇場のゆくえ 創造の拠点をいかにつくり継続できるか〉 岩松了、永井聡子、宮城聡 司会：清水裕之		楢円堂	
15:30-15:40	閉会挨拶			
16:00	送迎バス一台目発車（※、東静岡駅経由・静岡駅行き		バスロータリー	
16:15	送迎バス二台目発車、東静岡駅経由・静岡駅行き			
16:43	東静岡駅経由・静岡駅行き路線バス			

(※ この日に『夜叉ヶ池』(16:30 開演) ご観劇の方はこちらのバスをご利用ください。この日の公演に関しましては学会員割引はございませんので、観劇ご希望の方は各自でご予約をお願いいたします。

SPAC-静岡県舞台芸術センターとその周辺



交通についてのご案内

・公共の交通機関・送迎バスをご利用の場合

1) 静岡芸術劇場（一日目の会場）：JR東海道線東静岡駅南口、グランシップ内（東側、駅から一番遠い方の入り口です）

新幹線・高速バス等でいらっしゃる場合には静岡駅でお乗り換え、JR東海道線東京方面約2分で東静岡駅に着きます。**富士山静岡空港**をご利用の方も静岡駅までのアクセスバス（所要時間約55分）をご利用のうえ、JR東海道線にお乗り換えください。

2) 舞台芸術公園（二日目の会場）：JR東海道線東静岡駅南口から、研究集会にあわせて送迎バスを運行いたします。集会終了後は東静岡駅・静岡駅の両駅にお送りいたします。

人数把握のため、ご乗車ご希望の方は、返信ハガキの該当箇所に○をつけてください。

11/1（日）送迎バス運行表

	静岡駅	東静岡駅	舞台芸術公園
送迎バス①往路		09:00発	09:15
送迎バス②往路		09:15発	09:30
路線バス	09:27発	09:37→	09:48
送迎バス①復路	16:30	←16:15 (芸術劇場も経由)	16:00発
送迎バス②復路	16:40	←16:30	16:15発
路線バス	17:05着	←16:55	16:43発

※静岡駅は北口19番乗り場、東静岡駅発は南口2番乗り場、舞台芸術公園はバスロータリーからの発車

※送迎バス・路線バスとも、事情により遅延の可能性あります。ご了承ください。

路線バス時刻表

(しずてつジャストライン Tel. 0120-012-990)

日本平方面				静岡駅方面			
	静岡駅	東静岡駅	舞台芸術公園		舞台芸術公園	東静岡駅	静岡駅
8	12	19	32	9	38	49	59
9	27	37	48	10	43	54	
10	22	32	43	11	43	54	04
11	22	32	43	12	43	54	04
12	22	32	43	13	43	54	04
13	22	32	43	14	43	54	04
14	22	32	43	15	43	54	04
15	22	32	43	16	43	55	04
				17			05

※静岡駅は北口19番乗り場、東静岡駅発は南口2番乗り場、舞台芸術公園はバスロータリーからの発車

※運賃は静岡駅から舞台芸術公園まで370円

・タクシーをご利用の場合

1) JR静岡駅から静岡芸術劇場（グランシップ東端）までタクシーをご利用の場合、約10分で2,000円前後

2) JRの駅から舞台芸術公園までタクシーをご利用の場合、東静岡駅からは約10分で1,700円前後、静岡駅からは約20分で2,500円前後

※公園内には車両の進入はできませんので、入り口から楢円堂までは徒歩での移動（10分程度）となります。ご了承ください。

・自家用車をご利用の場合

当劇場サイト (<http://www.spac.or.jp/>) の「アクセス」のページをご覧ください。

ご宿泊・お食事についてのご案内

■ご宿泊について

10月31日当日は「大道芸ワールドカップ in 静岡」初日のため、すでに全館満室のホテルも出ておりますので、お早めのご予約をおすすめいたします。以下にご紹介するホテルは、8月末の時点でまだシングルの空室があったホテルです。会場に近い順にご紹介しております。これ以外にも宿泊施設がございますので、宿泊予約サイトなどでご確認ください。静岡駅・東静岡駅近辺でお宿が見つからない場合には、清水駅（静岡駅から東海道線で12分、東静岡駅から8分）周辺にも多数のホテルがありますので、ご利用ください。実行委員会・横山までご相談いただいても結構です。

静岡ホテル時之栖	東静岡駅・静岡芸術劇場から徒歩12分程度	6,825円～、朝食無料	054-285-0001
サンパレスホテル	静岡駅南口から徒歩3分	6,800円～	054-282-2277
ホテルガーデンスクエア静岡	静岡駅北口から徒歩5分	7,800円～	054-252-6500
HOTELアーバントイン静岡	静岡駅北口から徒歩6分	6,300円～、朝食無料	054-252-8366
ホテルドルフ静岡	静岡駅北口から徒歩7分（駅まで送迎あり）	7,200円～	054-251-5000

■二日目のお弁当について

二日目の会場「舞台芸術公園」の周辺には飲食施設や売店、自動販売機などがございません。

お弁当（「特選駿河御前」、1,000円）をご希望の方は返信ハガキの該当欄に○をつけてください。また、ご予約いただかない方は、各自駅周辺などでご準備ください。お飲み物は会場・食堂にもご用意いたしますが、必要な方は各自ご用意ください。